

令和4年度第3回 新発田市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 令和5年3月28日(火) 午前10時00分～午前11時00分

2 場 所 新発田市役所5階 会議室502～503

3 出席者

委 員	所属団体・職名	備考
伊藤 純一会長	新発田市副市長	
加藤康弘副会長	新発田商工会議所 事務局長	
高野 健太委員	新潟交通観光バス(株) 新発田営業所長	
庭山奈津子委員	新発田市ハイヤー・タクシー協会会長	
吉田 勤委員	東日本旅客鉄道(株)新潟支社 総務部 企画戦略室長	代理出席：副課長 太田 委員
武田 達也委員	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所計画課長	
山郷 和久委員	新発田地域振興局地域整備部長	
穴水 雄二委員	新発田市維持管理課長	
本間 淳悟委員	新発田警察署 交通課長	代理出席：指導係長 小川 委員
宮下 正一委員	NPO 法人七葉理事長	
佐藤 武男委員	新発田市自治会連合会	
渡辺 肇委員	川東地区自治連合会	
齋藤 啓一委員	松浦地区公共交通協議会	
島谷 尚之委員	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局首席運輸企画専門官	
吉田 誠吾委員	新発田地域振興局企画振興部長	代理出席：地域振興担 当専門員 樋熊委員
早川 英雄委員	日本労働組合総連合会新潟県連合会下 越地域協議会事務局長	代理出席：特別役員 久志田委員

公共交通計画策定 委託業者

エヌシーイー(株)

傍聴者

(株)新潟日報社

事務局（市民まちづくり支援課）

渡邊誠一課長、太田貴輝室長、田中俊介係長、蒲木みゆき係長、天野なつみ主事、小田切達也主事

4 会議概要

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

皆さんおはようございます。

日頃の公共交通の活性化に関してご協力いただき、大変ありがとうございます。また、今年の冬も昨年同様、大変な雪の中無事に事故もなく公共交通が運行できたということに感謝申し上げる。

新型コロナウイルスも落ち着いてきて、いよいよ5月からは5類に移行するというこ
とで、人の動きも活性化して公共交通の利用が促進されるだろうというふうに期待して
いる。

本日は、令和5年度の予算審議が議題となっている。令和3年度から既存路線の見直
し、あるいは空白地域の早期展開を進めてきたが、新年度は少し盛りだくさんとなっ
ている。

既存の運行維持もさることながら5月には五十公野赤谷路線の切り替え、そして秋頃
には、これまでバスなどが全く運行されていなかった加治川地域への新規展開を行う計
画である。

その他2ヶ年で取り組んでいる、新たな公共交通計画の作成、またバスの位置情報シ
ステムの拡大など事業も多くなっているので計画通り進めていきたいと考えている。そ
のためには会議や書面協議など、例年より少し多くなるかもしれない。

4月からは人事異動などでこの顔ぶれが変わるかもしれないが、引き続きご協力をお
願い申し上げて挨拶に代えさせていただきます。

(3) 議 事

○議長

まずは、本日の会議であるが、規約第9条第2項の規定により、過半数以上の委員の皆様から出席
いただいているため、会議が成立していることをご報告申し上げます。

【第1号議案】令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

（令和5年度事業計画（案）について）

- ・令和4年度からの継続項目に加えて新規取組を実施していく。
- ・主な新規取組は以下のとおり。

- 川東コミュニティバス車両入替
- 松浦地区デマンド乗合タクシーの検討組織の移行
- 豊浦地域公共交通の目標数値の設定
- 五十公野～赤谷地区公共交通の整備
- バス運行状況システムのエリア拡大（五十公野～赤谷地区）
- 加治川地域公共交通の整備
- 紫雲寺地域公共交通の見直し

（令和5年度予算（案））

- ・歳入歳出はそれぞれ 119,157,000 円
- ・歳入は市からの補助金 106,657,000 円と国庫補助金である公有民営方式車両購入費国庫補助金で 7,500,000 円、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金で 5,000,000 円を計上
- ・歳出は、継続事業である「振込手数料」、「各種バス、タクシーの運行委託費」、「バス運行状況システム及びキャッシュレス決済システム」、「地域公共交通計画作成業務委託」、「利用促進費」、新規事業として「バス運行状況システムの対象地域拡大」、「五十公野～赤谷地区公共交通」、「加治川・紫雲寺地域公共交通運行準備」、「車両購入費国庫補助金を市の特別会計へ支出」を計上
- ・令和5年度は令和4年度と比較して 23,593,000 円の増額。主な要因は五十公野～赤谷地区公共交通の運行委託費が入ったため。

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第2号議案】地域公共交通計画の方針及び目標について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・市内在住の20歳から70歳代を対象とした住民アンケート調査と、市内に立地する6校の2学年全員を対象とした高校生アンケート調査を1月に実施した。
- 外出の主な行き先は、買い物は西新発田駅周辺と国道7号線近辺のエリア、通院は県立新発田病院等が立地する中心市街地、通勤は周辺地区や市外を主な行き先とする割合が高く目的ごとに異なる傾向が見られた。
- （住民アンケートについて）
- ・バス、乗り合いワゴンの利用頻度では利用していないという方が93%を占めていた。また、運行内容を知っていると回答した人は約2割にとどまっていた。
- ・今後のバス、乗り合いワゴンの運行方針については非利用者でも現状維持と、現状より充実の合計が8割以上を占めていた。
- ・運賃は、利用者の4割以上が運行の財源を確保するために値上げを検討しても良いと回答していた。
- ・事前予約制についてどう感じるかの問いは、利用者は非利用者よりも予約制が面倒であると回答した人の割合が高くなっている。
- ・自動運転やスローモビリティといった新技術の導入については、どちらもわからないというのが4割から5割で検討してもよいというのが約3割にとどまっている。

(高校生アンケートについて)

- ・晴れた日は自転車、雨雪の日は家族等の送迎の割合が高く、市外の生徒は鉄道の利用が約8割を占めている。
- ・通学でのバス、乗り合いワゴンの利用については、晴れた日は約1割、雨雪の日は約2割となっている。
- ・利用頻度と認知度については、最近1年間でバス、乗り合いワゴンを利用した人は約4割いたが、運行内容を知っているのは約3割にとどまり、運行しているかわからないが約2割となっていた。

(住民・高校生アンケート両方について)

- ・運行便数を増やすなどの運行内容の充実に関する要望が多く見られた。
- ・利用者は時刻表やルート図をわかりやすくする、の割合が最も高い。

(新発田市地域公共交通網形成計画の評価について)

- ・令和5年度までは44政策が計画されており、実施中が22、一部実施が18、未実施が4となっている。
- ・網形成計画策定時の課題は今後も継続的な取り組みが必要な内容であることから、この課題を整理し、新たに課題8と9を加えた。

(基本方針について)

- ・新発田市まちづくり総合計画に掲げる住みよいまちの実現に向けて、日常生活を支える公共交通の維持確保を図り、人の流れと繋がりを生み出し、まちの賑わい創出に繋がる持続可能な公共交通網の形成を目指す。

(計画の目標について)

- ・基本方針を踏まえ、目標1周辺地域の公共交通の維持確保、目標2まちなか移動を支える公共交通の充実、目標3地域で支える公共交通の構築、目標4持続可能な公共交通網の構築を掲げる。
- ・上記の目標に対して、6つの評価指標を設定する。具体的な目標数値は令和5年度に検討を行う。

○委員

14ページの、高校生アンケートで、通学での移動手段の数値が合計すると100を超えるのはなぜか。

○事務局

複数回答を認めているため100%を超えている。

○委員

後で分析するときに何がメインなのかをわかるようにしておくように。

その後質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【報告1】加治川地域公共交通新規整備の進捗状況について

主な説明内容は以下のとおり。

- ・今年10月中旬に運行開始予定
- ・地域内のJR駅の接続と地域内の医療機関への通院を考慮する。
- ・1日4便で市街地行き2便、地域行き2便で検討
- ・地域内の医療機関に通院できる通院便を週2日完全予約制の運行で検討
- ・6月下旬には運行内容について、当協議会での協議後、運輸局に許可申請をする予定

○委員

加治川地域は空白地域だったということであるが、現行のバス系統がなく新たにこちらを設けることとして、事務局の方で検討されたかということと、どのような許可をするのか、また運行の仕方はどうするのか確認したい。

○事務局

完全に鉄道しかない地域になるため、新規の路線になる。許可は4条許可で、運行はタクシー協会さんの方と協議させていただいているところであるため、区域運行を考えている。

【報告2】令和5年4月からのコミュニティバス等の運行内容について

主な説明内容は以下のとおり。

「市街地循環バス」

- ・4月1日から外回り8時19分新発田営業所発の便を平日から毎日運行に切り替える。

「川東コミュニティバス」

- ・4月1日から夏ダイヤになる。内容は昨年度と比べて変更なし。

「松浦地区、豊浦地域公共交通」

- ・変更なし

「新発田市コミュニティバス」

- ・新発田駅到着の電車からの接続を考慮し2つの便の出発時刻を繰り下げる。
- ・平日の1便について、停車場所を追加する。

「廃止代替路線」

- ・赤谷六軒町線はスクールバスの分離に伴い、4月1日からあかたに号運行開始までの間、登下校に2台運行していた分のバスについて1便それぞれ運休する。
- ・金龍橋線と飯島線については変更なし。

○委員

アンケート14ページにもあるように5割近くの方がわかりにくいという意見があがっているが、利用する方のほとんどは高齢者で小さい字ではなかなか見づらいような人が多いと思う。なるべくプライベート時刻表をもっと情報発信し、それに慣れていくうちに普通の時刻表にも関心を向けてもらえるのではないかなと思う。今のプライベート時刻表の利用状況はどれくらいあるか聞きたい。

○事務局

我々はマイ時刻表と呼んでいるが、今年に入って1名要望をいただいたため、聞きとった内容でマイ時刻表を作成し郵送した。

また、窓口にも春ダイヤの変わる場所を教えてほしいということで、手書きで渡したこともある。最近では入学に伴いバスでの高校への行き方を聞かれるケースも多い。

○委員

63ページの変更はもうすぐだが、市民周知はどうしているか。

○事務局

それぞれのバスに掲示している。また、各学校や普段時刻表を置いている施設にも新しいものを配布している。

○委員

バス停には表示はしてないのか。

○事務局

赤谷六軒町線については、全ての停留所にお知らせを貼って乗る方への周知をしている。

5 その他

特になし

6 閉会